

守ろう 自分の命 守りたい 家族の命

～大雨・台風に備える～

7月の九州北部の大雨災害を始め毎年のように生命が脅かされるような自然災害が発生しています。

本市も台風やゲリラ豪雨などで大きな災害が出ないという保障はどこにもありません。被害を最小限に抑えるためにも今一度、自分自身のこととして考えてみましょう。

6月21日の大雨で崩落した市内の林道

大雨や台風の被害

6月21日の大雨では、本市でも多量の降雨を記録しました。午前1時～午後1時の12時間で98.5ミリ、特に午前11時～正午までの1時間では27ミリの雨量でした。

台風がもたらす大雨以外でこれほどの雨量を記録することは珍しく、人命に関わるような被害は発生していないものの、道路が崩れる・水路があふれるといった被害が市内各地で発生しました。

年々増加するゲリラ豪雨

大雨や台風による水害や、土砂災害は近年全国的に増加傾向にあります。大気が不安定になり、局所的に短時間で大量の雨が降る「ゲリラ豪雨」は、正確な予測が困難です。行きに通った道が帰りに冠水して通れないといったこともあるかもしれません。

また、土砂災害は危険性を事前に目で見て確認することや予測することが大変困難だと言われています。さらに、雨や風が強くなつてからや夜間では、避難場所などへの移動も大変になります。そのため、早い段階で避難の準備をし、少しでも危険を感じたら自主的に避難を開始しましょう。

なお、避難

場所まで避難する時間に余裕がないときは、近くの頑丈な建物・自宅の2階以上の部屋・崖や沢から離れた部屋など、少しでも安全な場所を選んで移動するようにしましょう。

避難経路を知っていますか？

自分の住んでいる地域の危険な場所や避難経路、避難場所などを事前に確認し、有事に迅速な行動がとれるよう備えましょう。



防災豆知識

ハザードマップには避難場所を記入できるよ！

蒲郡市ハザードマップ
GAMAGORI CITY HAZARD MAP

携帯持ち出し品チェックリスト

我が家の防災メモ

気くゞい時期に個人、家族で避難場所を決めて記入しておきましょう。

想定する災害の種類	最初の避難行動	避難場所
1. 地震		
2. 台風		
3. その他の災害		

☆ハザードマップは、防災課で配布中